

◇ 沿革

昭和20年12月1日

陸軍病院より引き継いで国立岡山病院

(所在地—岡山市伊福町)として発足

昭和21年6月10日

英連邦軍に接收(国立岡山療養所の一部にて業務続行)

昭和22年12月22日

同上接收解除

昭和23年5月1日

附属模範高等看護学院設置

昭和36年5月22日

岡山市南方に移転、業務開始

昭和58年10月1日

臨床研究部設置

平成13年3月31日

国立岡山病院閉院

平成13年4月1日

病院新築に伴い現在地(岡山市田益)に移転、開院

国立病院岡山医療センターに改称

附属看護学校が国立療養所南岡山病院附属看護学校と統合、大型化

平成16年4月1日

独立行政法人に移行、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターに改称

平成23年10月29日

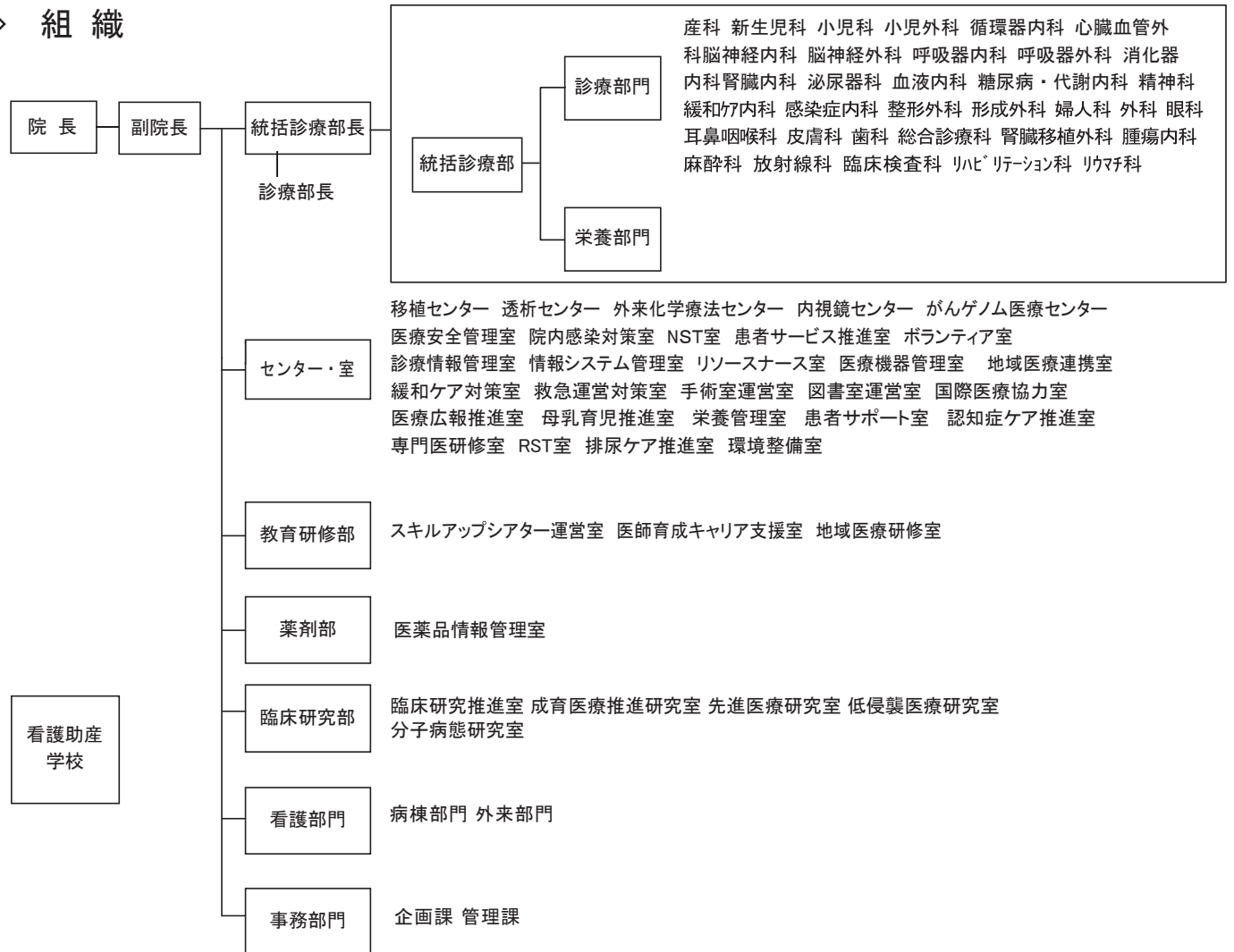
西棟竣工(同年11月より病棟・保育所運用開始)

平成24年4月1日

当院を指定管理者とする国立病院機構岡山市立金川病院が新築開院(岡山市北区御津金川)



◇ 組織



◇ 幹部紹介 (令和2年4月～令和3年3月)



院長
久保 俊英



副院長
岡田 正比呂



副院長
柴山 卓夫



臨床研究部長
角南 一貴



統括診療部長
松原 広己



副統括診療部長
太田 徹哉



看護部長
秋本 洋子



事務部長
大谷 伸次